

以下の箇所に誤りがありました。謹んで訂正し、お詫びいたします。

1章「病理病態論」 2節「血行障害」

2項「血行障害の分類」

p.37 上から5行目

【誤】

母体内での胎生期に発達していた臍静脈は子宮内での胎児の成長とともに萎縮して、
生後は不要になり閉鎖する（閉鎖した臍動脈を肝円索という）。

【正】

母体内での胎生期に発達していた臍静脈は子宮内での胎児の成長が終わると、
分娩後は不要になり閉鎖する（閉鎖した臍静脈を肝円索という）。

ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち①『病態生理学』正誤表

第5版第1～3刷

以下の箇所に誤りがありました。謹んで訂正し、お詫びいたします。

1章「病理病態論」 6節「変性・壊死・萎縮・老化」

2項「細胞の障害・適応の分類」

p. 69 本文 上から5行目

【誤】

副甲状腺ホルモン (ADH) は骨吸収を, エストロゲンとカルシトニンは骨形成を促進する。

【正】

副甲状腺ホルモン (PTH) は骨吸収を, エストロゲンとカルシトニンは骨形成を促進する。

* PTH : parathyroid hormone 副甲状腺ホルモン

ADH : antidiuretic hormone 抗利尿ホルモン